

大学入学予定の皆さんへ

ノートパソコン必携（大学）について

※3月末日までにはノートパソコン及びインターネット接続環境の準備をしていただき、4/2（火）～4/5（金）の入学期間中の所属学科のネットガイダンスには、ノートパソコンを持参し必ず出席してください。なお、大学HPの「新入生応援サイト」にも、『ノートパソコン必携（大学）について』の情報をアップしています。ぜひご覧ください。

四天王寺大学では、パソコンを活用した授業を展開し、学生生活の様々な場面でパソコンを利用する機会を多く提供することにより、高度情報化社会に対応できる人材を育成することとしております。

そのため、本学では学生個人が自由に使用可能であり、かつ携帯することができるノートパソコンと、自宅等におけるインターネット接続環境の準備をして頂くこととしました。

つきましては、以下の内容をご確認いただき、2024年3月末日までにノートパソコン及びインターネット接続環境の準備をして頂くようお願い致します。

なお、不明な点につきましては裏面のお問合せ先にご連絡ください。

主な活用方法

- ・授業受講
- ・授業課題への対応、課題・レポート作成、プレゼンテーション資料作成、授業資料の収集など
- ・就職活動（オンラインによる企業説明会への参加、企業との個別面談）のほか、クラブ活動やボランティアなどの課外活動
- ・学内での手続き（履修登録、学修ポートフォリオの利用、成績閲覧など）

必須となるパソコンのスペック（性能）

下記のスペック（性能）表に記載の条件を満たしているパソコンをご用意ください。既に必須となるスペック（性能）と同等のパソコンをお持ちの場合は、新たに購入する必要はありません。

項目	必須スペック（性能）詳細
形状	ノート型パソコン（カメラ、マイクが装備されていること）
CPU	Intel Core-i5（同等）以上
メモリ	8GB 以上
ディスク容量	SSD（ソリッド・ステート・ドライブ）で256GB 以上
ディスプレイ	13inch 程度以上
キーボード	フルピッチのハードウェアキーボード（テンキー必須ではありません）
バッテリー	カタログ数値で8時間以上
無線LAN	IEEE802.11 ac/ax 以上の規格に対応すること
OS	Microsoft Windows10以降
重量	持ち運び可能な重さのもの
オフィスソフト	2ページ目の「オフィスソフトについて」を参照
ウイルス対策ソフト（*注1）	市販のソフトまたはWindowsの標準機能

★その他必要な機器として、マウスを購入してください。

(*注 1) 近年 Windows 標準のウイルス対策ソフト (Windows Defender Antivirus) の性能が向上していますが、セキュリティをより高めるために市販ソフトの購入を推奨します。

推奨 OS は Windows10 以降

本学の授業等では、Windows の使用を前提にしています。

オフィスソフトについて

在学中は、マイクロソフトの Office365ProPlus を使って Word、Excel、PowerPoint などのソフトウェアを無料で利用できます。入学後に大学から配布されるユーザ ID を使ってインストールを行ってください。但し、利用できるのは在学中で卒業後は利用できません。また、パソコンを準備する際に購入したマイクロソフトの Office ソフトを使って授業を受講することも可能です。この場合は卒業後も使用可能です。

パソコンの購入方法

パソコンは各自で電気店や量販店でご購入ください。

パソコン購入に不安がある場合は、上記スペック (性能) 表を直接電気店や量販店の方に提示してご相談ください。

自宅でのインターネット環境

光ファイバーやケーブルテレビなどによるインターネット接続環境を推奨します。

スマートフォンのテザリングなどでは通信が不安定となったり、通信速度に制限がかかる恐れがあります。また、費用的に高額となる可能性もありますのでご注意ください。

大学で利用できる情報サービス

- 無線 LAN (Wi-Fi)
大学構内の全教室、図書館、食堂などで、学生が利用可能な無線 LAN (Wi-Fi) 環境を整備しています。個人所有のパソコンを無線 LAN に接続することでインターネットに接続することができます。
- 電子メール
入学後は大学が発行する個人メールアドレスを利用してメール機能を使う事ができます。(本学のメールシステムは Google 社が提供するメールサービスの「Gmail」を使用しています。)
- 印刷環境
ラーニングcommons (3号館1階)、学生サポートフロア (3号館2階) で、課題やレポート等を無料で印刷することができます。
- 充電設備
日常は自宅等で充電するようにしてください。但し、学内に充電可能な場所がありますので、大学での利用中にバッテリーの残量が少なくなったなど、急を要する場合に使用してください。
- パソコン利用の支援
入学後は、パソコンの基本的な利用方法や無線 LAN への接続など、情報機器等の利用に関する相談窓口をラーニングcommons (3号館1階) に設けていますので、気軽にご相談ください。学生スタッフが対応します。

お問合せ先

高等教育推進課 メール：jyoho@shitennoji.ac.jp 電話：072-956-9910 (月～金 9:00～17:00)

以上

「大学の学科等におけるパソコン活用方法」について

学部・学科	活用方法
文学部 日本学科	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な使い方としては、授業中および授業後に、コメント提出、小論文などの文書や発表資料の作成と提出、グループフォームでの回答などに使用しています。 ・必修科目である「視覚メディア演習Ⅰ」では、Microsoft PowerPoint の機能を活用したスライドショーなどの制作に使用します。 ・授業によっては、例えば「ツーリズム論」のようにデータ分析や地図作りをする場合もあります。 ・より専門的な使い方としては、学科に関わるデータベース(国立国語研究所文献検索、コーパス検索アプリ少納言・中納言、国文学研究資料館論文検索、科学技術情報発信・流通総合システム J-STAGE など)を、各自の研究に活用しています。
文学部 国際コミュニケーション学科	<p>いくつかの授業の活用方法を紹介します。</p> <p>「大学基礎演習Ⅰ」 学期末のプレゼンテーション大会に向けたスライド作成に使用しています。Google スライドを活用することで、グループで手分けして作業が可能になりました。</p> <p>「英語教育論」 各自図書館等で調べてきた対象記事について、それぞれ工夫してパソコンでプレゼンテーション用のスライドを作成して改題を行いました。</p> <p>「専門演習Ⅲ」 論文作成のための統計処理の手法を学ぶために使用しています。統計処理は話を聞くだけではわかりづらく、具体的な課題をもうけて、ハンズオンで学ぶ必要があります。その際に用いる統計処理ソフトは、スマートフォン等では動かしづらいため、学生たちは各自パソコンを持参し、各自のパソコンで統計処理環境を整えて、学習しました。</p> <p>「国際コミュニケーション論」「異文化共生論」 「世界体験入門」 パソコンを使って学生がグループのプレゼンテーションを行いました。実際に写真撮影してパワーポイントにてプレゼンテーションができる内容を作成し、オンラインで発表しました。</p>

<p>社会学部 社会学科</p>	<p>授業を受講する場合、遠隔でも対面でも、IBU ネット (Web 上のラーニングシステム) をとおして、授業資料を閲覧したり、小レポートを提出したりする必要があります。レポートや報告資料の作成時には、インターネットを用いて資料を検索・閲覧・収集し、ワード・パワーポイント・エクセルなどを使って完成させます。</p>
<p>社会学部 人間福祉学科</p>	<p>実習の準備学習で施設等の沿革などを調査する際には、パソコンを持ち寄りリサーチしながらグループで内容をまとめています。スマートフォンで対応できることもありますが、スマートフォンでは画面が小さいので、資料の一部しか見ることが出来ないなど効率的ではありません。実習報告では、パワーポイントを作成してプレゼンテーションをしますので、パソコンの活用は必須です。</p>
<p>教育学部 教育学科</p>	<p>活用方法については、次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション (授業、ゼミ、卒業研究等) ・レポート、課題等の作成 (授業) ・卒業研究 (4 年次) ・データ分析・統計処理・情報収集 (授業、ゼミ、卒業研究等) ・英語口頭試験の対策 ・ICT 活用授業実践 (ロイロノート等) ・海外等遠隔地との交流 (Zoom 等の活用)
<p>経営学部 経営学科</p>	<p>授業課題レポートなどを作成するために、白書や調査報告などから必要な情報を収集し、本文の説明等に適切な表やグラフを挿入して、効果的なレポート等が作成できるパソコン活用力を付けてもらいたいと考えています。そこで、大学基礎演習をはじめとする授業の受講等において、IBU.net の使い方、インターネットでの検索、文書・レポートの作成、Word によるワークシート等の作成、Excel での表作成、ビジネスプランコンテスト等の PPT 作成とプレゼンテーション体験など、機会あるごとに練習を重ね、実践的なパソコン活用力を身につけられる場を多く設けるとともに、検定試験でスキルチェックする機会も設けます。</p>
<p>看護学部 看護学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークでのまとめ、課題、プレゼンテーション、学内外の学生同士のディスカッションに活用します。 ・シミュレーションでの電子カルテ閲覧や学びの共有と振り返りに活用します。 ・授業評価の一端としてアンケートで活用します。 ・各種レポート、課題研究の本文作成に活用します。 ・文献検索に活用します。